



*Full-Time*

*Training*

*in Tokyo*

**2016**



11人

出エジプト記 第40章34節

その時、  
雲は集会の天幕を覆い、  
エホバの栄光が幕屋を満たした。

# 詩篇 第84篇5節

幸いです、その力があなたにあり、  
その心にシオンへの大路がある人は。

# 12th



# — 全時間訓練 —

全時間訓練は神学校や聖書学校ではありません。  
それは青年たちが共に住んでからだの生活をして  
霊的な命を訓練し、ここで訓練されて成就され、  
聖書を学び、祈りを学び、良い性格を建て上げることです。

主を追い求める青年たちを成就して  
キリストの中で成長させ、キリストのからだにおける正常な、  
生きた、機能する肢体となって、  
キリストの有機的なからだを建造し、  
キリストのからだの実際を生かし出します。

Watchman Nee ウォッチマン・ニー

真理

Truth

---

命

Life

---

奉仕

Service

---

福音

Gospel

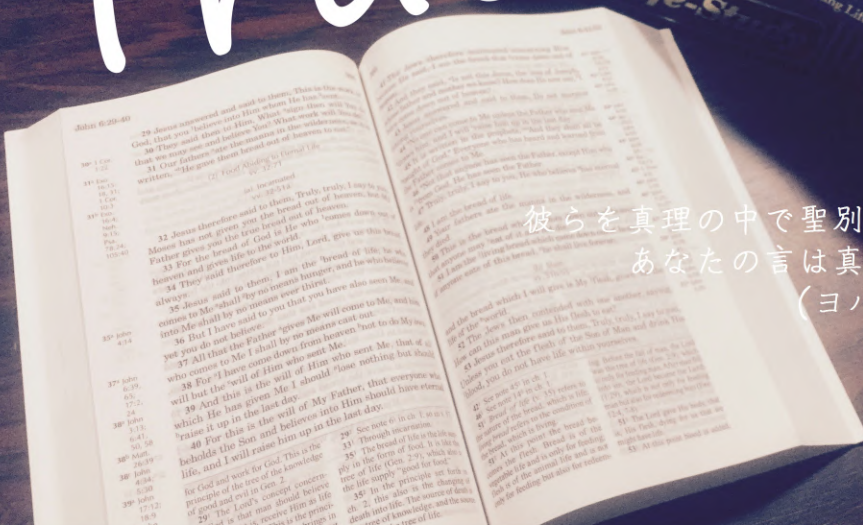
---

性格

Character

---

# Truth



彼らを真理の中で聖別してください、  
あなたの言は真理です。  
(ヨハネ17:17)

# 11



櫻井 実

Makoto Sakurai

ヨハネ14:6: 「…わたしは道であり、実際であり、命である。…」主ご自身は私たちにとって命です。この命は私たちに実際をもたらします。

主イエスは、道、真理、実際、命、言、恵、光、愛、聖、義、すべてのすべてです。

真理とはギリシャ語で「実際」（虚栄と反対の意味）であり、いわゆる教理上の真理ではなく、神聖な事柄の実際です。

すなわち主ご自身であり、神聖な実際が私たちの美德となった結果、私たちは実際の神によって生き、彼を表現することが出来ます。

私たちが日々の生活で神聖な実際であるキリストをますます獲得し、主イエスご自身が私たちの美德となり、実際の神によって生き、神の生ける実際、生ける表現、神の生けるメッセージとなることが出来ますように。





後藤 純香  
Sumika Goto



「その霊である神の言葉を、すべての祈りと願い  
求めによって受け取りなさい」(エペソ6:17b-18a)。

霊を活用して祈りの中で御言葉に来るなら、真理は単なる客観的な知識であるだけでなく、わたしたちにとって実際となります。訓練では真理を追求するための多くの時間がありますが、聖書や霊的書物を読むたびに、また御言葉を思いめぐらすたびに、主は新鮮に語ってくださいます。「主よ、わたしはこの本を読むとき、あなたに触れ、あなたの声を聞き、あなたを見たいです。」主はいつもわたしの祈りにこたえてくださる信実な方です。真理を追求すればするほど、さらに主への評価、主に対する愛が増し加えられることを感謝します。主よ、あなたの言葉はわたしにとって、心の楽しみ、喜びです！



# Life

わたしたちの命なるキリストが現される時、  
あなたがたも、彼と共に栄光のうちに現されます。  
(コロサイ3:4)

# 11



余力 聖美  
Kiyomi Yoriki

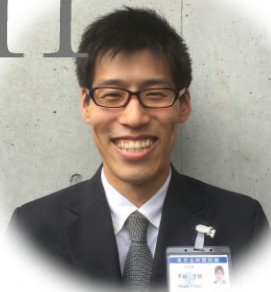
「あなたがた自身の救いを成し遂げなさい。なぜなら…願わせ働かせるのは、あなたがたの内で活動する神だからです」(ピリピ2:12b-13)。

ここでの救いは日々の、瞬間ごとの救いです。私たちは救われてもなお、日常生活の中で主からの救いを毎日受ける必要があります。それは私たちの意思が造り変えられ、命において成長するためです。私たちが命において徐々に成長すればする程、自然と内で活動する神に、また周りにいる肢体に従うことが出来ます。これは私たちの努力や自制ではなく、キリストが増し加わった結果です。

私はどんな小さな選択肢においても、主に聞き心を聞く事によりこの救いを経験する様、日々訓練しております。







平田 千秋  
Chiaki Hirata

命は奥義的です。なぜなら、この命は神ご自身であるからです。この命は、肉体と成り、人の生活を送り、十字架につけられ、葬られ、復活し、命を与える霊と成られました。人は彼を信じる時、この霊を受けます。わたしたちの人の霊は再生され、今やその霊とミングリングされています。

わたしは訓練の中で、やるべきことに時間を追われ、自己の中で実行してしまう時、肉の中にいることに気付かされ、何度も暴露されました。しかし、今やわたしたちの霊とミングリングされているその霊を感謝します。Iコリント第6章17節は言います、「しかし、主に結合される者は、主と一つ霊になります」。

わたしはこれらの経験を通して、ミングリングされた霊にしたがって歩くこと、主と交わること、キリストのからだの肢体と交わることの必要を認識し尊ぶようになりました。このような命の経験をさらに追い求めたいです。

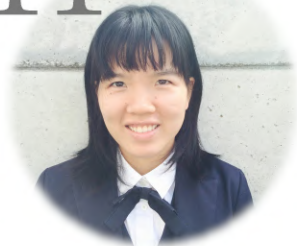




神はまたわたしたちを新しい契約の奉仕者として、  
資格づけてくださいました。  
それは、文字ではなく、霊の奉仕者です。  
なぜなら、文字は人を殺しますが、  
その霊は人に命を与えるからです。  
(Ⅱコリント3:6)

# Service

# 11



胡春燕

Chunyan Hu

訓練に入る前に、私は一人で主を追い求めることを好む人でした。兄弟姉妹たちと取り組んで奉仕するのは苦手でした。訓練に入った後、兄弟姉妹と組み合わせられて多くの奉仕をしなければならない環境に置かれました。その中で、自分が個人主義であること、兄弟姉妹たちに開いていないこと、からだを顧慮していないことを照らされました。そして、光の中で、神の究極的な意図は私たちが建造されて、からだ、すなわちキリストを内容とし、キリストを表現する団体の器を持つというビジョンを見ました。

Iペテロ2:5は言います、「あなたがた自身も生ける石として、霊の家に建造されていきながら、聖なる祭司の体系となって、イエス・キリストを通して、神に受け入れられる霊のいけにえをささげなさい。」

さらにはからだに開き、兄弟姉妹と組み合わせられて奉仕にあずかり、建造されることを願っています。





今村 恵

Megumi Imamura

「しかし、わたしたちは縛られていたものに死んだので、今や律法から解放されました。その結果、わたしたちは文字の古さの中ではなく、霊の新しさの中で仕えているのです」(ローマ7:6)。

わたしたちは霊の中で主に仕えます。わたしたちの奉仕において全てのことの目的は、キリストを他の人たちに供給することです。物事を上手にスムーズにできたとしても、キリストを供給しなければ何の意味もありません。

訓練生活の中で奉仕に預かれる機会がたくさんあります。私は、失敗しないようにスムーズにやることを1番に考えてしまいます。そればかりにとらわれてしまい、いつの間にか主を忘れ、天然で頑張ってしまうことが多くあります。成功することが主の目に重要ではありません。何をするにも霊の中に戻り、キリストを供給する奉仕をもっと学ぶことができますように。



# Gospel

だから、行って、すべての諸国民を弟子とし、  
父と子と聖霊の名の中へと彼らをバプテスマして、  
(マタイ28:19)

11



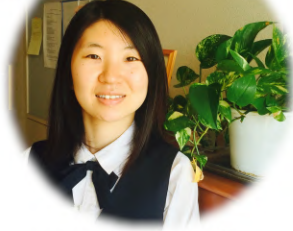
田中 義信

Yoshinobu Tanaka

わたしは訓練生になり福音を始めたころは、人に声を掛けることも、相手に福音を宣べ伝えることもあまりできませんでした。そんな時に、ゴスペルパートナーの兄弟は自分を顧みてくださいました。その結果、最近では、自分から人に声を掛けることもできるようになり、福音を人々に宣べ伝えることもできるようになりました。駅前や大学のキャンパス内で歩いている人々に声を掛け、断る人たちがいるのですが、中には断らずに、福音を聞いてくれる人もいます。

ローマ15:16は言います、「それは、わたしが異邦人へのキリスト・イエスの奉仕者となり、神の福音の労苦する祭司となるためであって、ささげ物である異邦人が聖霊の中で聖別されて、受け入れられるためです」。福音で労苦することは、決して無駄ではありません。福音をすることを通して、さらにキリストを経験し享受できますように。





田中 友美

Tomomi Tanaka



「聞いたことのない方を、どのように信じるのでしょうか？彼を宣べ伝える者がいなくては、どのように聞くのでしょうか？」(ローマ10:14b)。

「ですから、信仰は聞くことから来るのであり、聞くことはキリストの言葉によるのです」(ローマ10:17)。

全時間訓練のクラスや生活の中で享受したキリストの言葉を内に住まわせ、わたしたちは日々キャンパス福音に出て行きます。何もキリストについて語れない日や、多く語っても聞いてもらえない日もあります。落ち込んでしまう自分に天然で語っていたことを照らされ、何より主の中でエンジョイがあることを感謝します。ただ主に信頼し、時が良くても悪くても福音を宣べ伝える者となれますように。



# Character

しかし、わたしたちはみな、主の栄光をおおいのない顔をもって、鏡のように見つめ、そして反映して、栄光から栄光へと、主と同じかたちへと徐々に造り変えられていきますが、それはまさに主なる霊からです。(Ⅱコリント3:18)

## 12



横田 守  
Mamoru Yokota

神のエコノミーは家庭の分配、執事職です。もしいいかげんな性格であるなら、美味しくキリストを供給できません。それどころか死をもたらしてしまいます。非常に厳肅だということをクラスで学びました。

訓練で学んでいる「真理、命、奉仕、福音」を入れる器は『性格』です。なので、とても重要なのが分かります。

自分の性格は以前は仕事で鍛えられてそこそこ良くなったと思ってましたが、訓練に入って自分の真の状態が暴露され、正しくキリストを供給できない者であることを主によって深く認識させられました。ただ、主を仰ぎます。

＃604主は陶器師また建造する主♪この主に自分自身を明け渡します。主が私たちに与えた環境は最上です！この中で日々、神からの分与にあずかり、兄弟姉妹と共に主を享受しつつ徐々に造り変えられていきたいです！



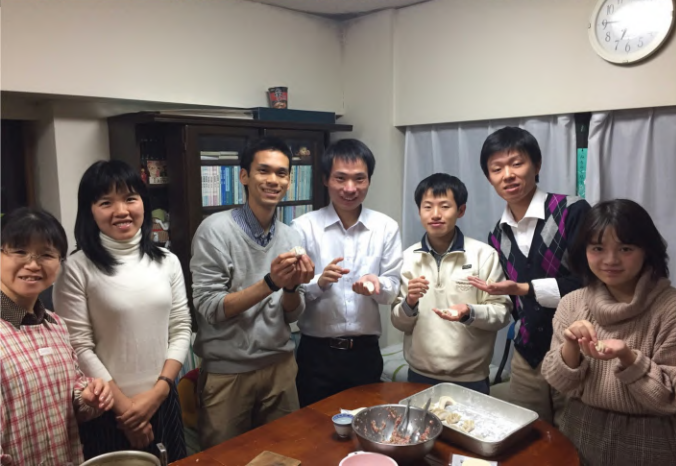
# 11



大黒 美由紀  
Miyuki Oguro

「またこの時代にかたどられてはいけません。むしろ、思いが新しくされることによって造り変えられなさい」(ローマ12:2a)。

訓練を通して、性格の重要性が見せられたことを感謝します。性格は単なる外側の振る舞いではなく、私自身がどういう人であるかということです。また、真理・命・奉仕・福音を学ぶ上で、性格が大きく影響することを知りました。主に仕えるためには、性格が建て上げられる必要があります。そのために、進んで主に協力して性格の対処を受け入れることができますように。日ごとに古い私が終わらされ、神聖な命と性質が造り込まれることを願います。



# Schedule

---

6:00 起床

6:25 朝ごとの復興

7:00 朝食

7:50 基臨ビルへ移動、聖書通読

8:30 クラス I

10:15 クラス II

11:30 キャンパスワーク

16:10 務めの集会のビデオ、PSRP、クラス

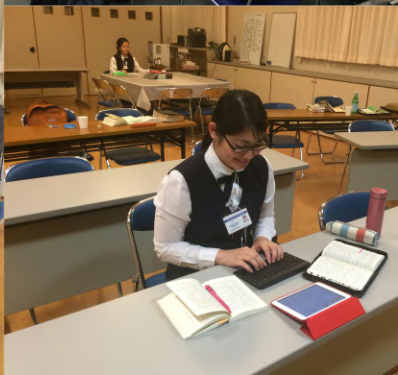
17:45 夕食

19:00 自習、祈りの集会、小組

22:00 夜の祈り

22:30 就寝







Anaheim

11



森田 響  
Hibiki Morita



このFTTAの一週間と夏季訓練の一週間という祝福された二週間に参加できたことを主に感謝します。

最初の一週間のアナハイムでの短期訓練における経験は私たちにとって新鮮であり、今後の助けとなるものでした。特にクラスでのトレーナー達の語りかけはとてども供給があり新鮮でした。月曜の夜の復興の集会ではMinoru Chen兄弟が語って下さったのですがそれは卒業生に対する強い負担であふれていました。

それは次の世代の私たちが皆、主に仕えるという負担です。この語りかけは私の今後の人生にとてども大きな影響を及ぼすであろう語りかけでした。兄弟は個人的な証を語って下さいました。

兄弟は大学生になる前、香港からアメリカに船で移住しました。その長い船旅の途中、夜デッキに出て天を見上げて祈りました『主よ、将来私に何が起こるかわかりませんが、これだけはわかります。私がアメリカに行くのはあなたに仕えるためです。』

これが兄弟の心の中にあつた全てでした。そしてこのシンプルな祈りは今まで50年間答えられてきたと証していました。

兄弟のこの主に仕えるという燃える願いは兄弟の人生の歩みを方向付け、兄弟を保ってきました。



この主に仕えるという心は私たちを保ち、保護します。この主に仕えるという切迫した願いは主に対して有用なものとなります。なぜなら主はそのような心を用いて私を対処するからです。

私たちは訓練の中で真理や奉仕など学ぶべき多くの項目がありますが、今夜のこの集会における強調点は『心』だと兄弟は語られました。兄弟は初期の頃とても自分は天然적であったと証しました。主に仕えるという心を持っているからこそ、自己、個人の栄光、個人の権益によって私たちの心は誘惑されます。

しかしそれで良いのです。私たちはそのような主に仕える心を持って開始するのです。その過程の中で私たちの心が天然적であっても主は私たちの心の中の岩などを取り除くことができます。そのような仕える心がある限り主は私たちの心を純粋にしようと働くことができます。天然적であったとしてもそのような心すらないなら主は私たちの心を純粋にしようとしてもできません。

主に仕えるという願いは私たちの中で主が多くのことを行うことができる領域となります。そのような心を持つものには主は多くの学課を与えます。それらを経て私達は仕える者となって行くのです。私たちの心を強めていただくために主の訪れが必要です。私たちは訓練で主に仕えることを学んでいるのです。

啓22:3「もはやのろいはない。神と小羊の御座がその中にあり、彼の奴隷たちは彼に仕える」。主に仕える事は大きな祝福です。兄弟姉妹、私たち皆が、生涯主に仕えますように。

# Anaheim



# 11



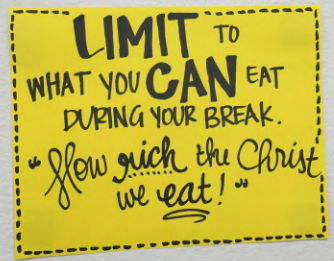
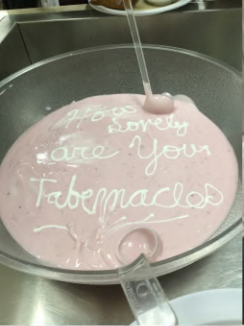
平田 美早  
Misaki Hirata



アナハイムでの経験を通し、主が一人一人の霊的視野を広げてくださったことを感謝します。

アナハイムへ到着した日、ある兄弟が交わりでわたしたちに一つの質問をされました。「あなたたちはアメリカで何をしたいですか?」。わたしたちの多くはキリストのからだを見たいと答えました。兄弟は、召会生活の中でからだを見るのは実は難しく、からだを見るためにはブレンディングが必要だと語られました。それは海外に来て、いろんな国籍の兄弟姉妹が一緒に集まることではありません。そこにキリストのからだがあるか、命があるか、一があるかです。初日にこの交わりがあり、滞在している2週間とても助けられました。こちらから姉妹達に話しかけるたびに緊張していましたが、この交わりを思い出した時、わたしたちは一つからだです、からだの中にとどめてください、と祈り安息を得ることができました。

アナハイムの訓練生と過ごして、生活の中でエンジョイしながらキリストを生きている、と感じました。朝、訓練センターへ向かうバスの中では隣同士、今日も自分たちが主に開き主を得る事ができるように、成長があるように必死に祈り合っていました。わたしは



福音友人の為や兄弟姉妹の為には祈りますが、自分の為には必死に祈っていなかった事を照らされました。わたしも主をさらに得るために、いつでもどこでも祈る必要があると認識できました。

訓練のクラスでは、訓練とはこれをやれ、あれをやれという事ではなく、わたしたちの生活を訓練することであり、信仰の言葉に従った生活を送ることであり、そして命を成長させることです、と語られました。そして成長とは、教えによるのではなく、食べることによります。わたしたちは霊を活用して言葉を食べる必要があります。言葉が甘くなる時、キリストの豊富にもたらされ、養われます。そして、わたしたちが養われるのは、自分達のためだけではなく、供給するためです。わたしたちが供給された事を与えれば与えるほど、またわたしたちは受けることができます。今回、アナハイムで供給された事も自分の為だけではなく、主は他の肢体にも供給して欲しくて、わたしたちに供給してくださったと感じました。「これらの事を兄弟たちの前に提示するなら、あなたはその信仰の言と、あなたが緊密に従ってきた良い教えの言に養われて、キリスト・イエスの良い奉仕者となります。しかし、俗悪で、老婆じみた作り話を拒絶し、自分自身を訓練して、敬虔へと至りなさい」(Iテモテ4:6-7)。

続いて語られたのは、経験した主を語りだすだけでなく、照らされ暴露された、で終わるのでもなく、キリストを生かし出す必要がある。これが生活です、と言われたのがとても印象に残りました。アナハイムで本当に多くの供給、印象付けられた事がありました。それを語るだけでなく、生かし出すまでになりたいと願われました。

# Salvation & Calling



12

池島 本太郎

Mototaro Ikejima

今から8年前の2008年9月、留学先の中国で、ある日本人兄弟との出会いをきっかけに、福音を聞きバプテスマされました。

エペソ第1章4節は言います、「すなわち、この方は、愛の中で、御前に聖く傷のない者になるようにと、この世の基が置かれる前から、キリストの中でわたしたちを選び、」

神はこの世の基が置かれる前からある運命へとすなわち神・人の原型であるキリストの大量の複製となるためにわたしたちを選ばれました。それはまた、この時代において勝利を得、来るべき千年王国で、キリストと共に王として支配することです。

詩歌751番はわたしの好きな詩歌の一つです。3節では、「御座にふくするをこの日まなび、ご自身の統治と生かつ知る；さらば主のけん威にあずかり、御子とともに王権、行使する。」わたしたちは将来、王国を褒賞として得るために今のとき



「それは、キリスト・イエスの中で、異邦人が福音を通して、共に相続人となり、共に一つからだとなり、共に約束にあずかる者となることです。」(エペソ3:6)



に、神の権威に服することを学び、甘んじて彼の統治を受け、厳格に言語や行動を対処する必要があります。

全時間訓練に来る前、わたしは在職青年でした。全時間訓練に対して多少の興味はありましたが、特に願いがあったわけではありませんでした。

召会生活の中では何人かの訓練卒業生たちがいて、多くのとき励まされました。まさか今度は自分が全時間訓練に来ることになるとは、全く想像もしていませんでした。

ピリピ第2章13節は言います、「なぜなら、神の大なる喜びのために、願わせ働かせるのは、あなたがたの内で活動する神だからです」。在職で召会生活を送るなかで、あるときを境に願いが起こされました。しかし会社のことや家族のことなど、環境を見たときに、自分ではどうすれば良いか分かりませんでした。

しかし、ハレルヤ！神の大なる喜びのゆえに主を賛美します。わたしたちは内側で願いと行動を起こさせる神を持っています。自分自身で何かを行なうのではなく、内で働く神ご自身がわたしたちに代わって遂行して下さいます。わたしたちが行なうべき唯一のことは、内で活動する神に従うことです。このことにおいて、目を覚まし忠信であるなら、神はわたしたちの上で道を得て下さいます。

# Enjoyment



# 11



岡田絵里香  
Erika Okada



私が今訓練でenjoyしていることは「仲間」です。  
私は地方で生まれたので子供集会はいつも身内だけでした。ですから特別集会で同世代の姉妹たちと会うのがとても楽しみでした。しかし人見知りの私はなかなか話しかけられずに集会は終わりいつも楽しそうな姉妹たちを横目に帰っていました。そんな幼い頃の私にとって特別集会でみる訓練生は、とても輝いていました。私が一人で歩いていると優しく話しかけてくれたり、大きな舞台上で申言したり兄弟姉妹が主を享受している姿をみて私も同じように訓練生になりたいと思うようになりました。地元と同世代の姉妹がいなかった私はずっと「仲間」が欲しいと願っていました。主はそんな私の願いをご存知でした。そして主は私の願いをはるかに超えて祝福してくださいました。私たち1期・12期は年齢も環境も全く違う所から集められました。しかし誰かが落ち込んでいればその人のために共に祈り、嬉しいことがあればすぐ報告しあったり出来る仲間を得ることが出来ました。訓練では色々な困難が起きる事もあります。しかし一つ一つ主の中で共に乗り越えていける仲間がいることを主に感謝します。どうしても一人では越えられない壁にあたったとして



「ただし、あなたは若い時の欲から逃れなさい。  
そして純粋な心で主を呼び求める人たちと共に、  
義、信仰、愛、平和を追い求めなさい。」(IIテモテ2:22)



も私たちには仲間がいます。「私が」一人で戦うのではなく「私たちで」戦うことが出来ます。私たちはからだの肢体以上でも以下でもありません。主に信頼し、仲間に信頼し更に建造しあう関係となりますように。

私は訓練の仲間をenjoyしているだけでなく主との関係においてもenjoyしています。出エジプト記33:11の前半は「人が自分の仲間に語るように、エホバは顔と顔を合わせてモーセに語られた」と言います。ここでエホバとモーセは仲間だったことがわかります。以前まで私にとって主は遠い存在でした。あらゆることを自分で決めて自分の道を歩んでいました。自分で決めたことは何一つうまくいかないのに、主が言ったことを行うなら全てがうまくいきます。主の道は私たちの道よりも高く、主の考えていることは私たちの考えより高いのです。主はいつもどんな時も私と共にいて私が喜んでいる時には共に喜び、私が落ち込んだ時には涙をもって私を慰めてくださいます。主はずっと私の中で働き続けてくださっていました。以前より私は主との距離がとても近くなったと感じます。私ができるようになったのも仲間の祈りや励ましがあったからだだと思います。そしてなにより主がいつも中で語り、とりなしてくださっていたからだと感じました。主がとても甘く近い方だと主観的に経験できていることを主に感謝します。



神のかたちにある団体の人を得て  
神を表現し、神を代行するという  
神の永遠の定められた御旨を成就するために、  
わたしたちは神のかたちであるキリストの栄光の福音を告げ知らせ、  
また主が神聖な権威をもって支配する王国の福音を告げ知らせます。  
(2016年5月全国特別集会標語)



わたしたちは命において目を覚ましており、  
奉仕において忠信であることによって、  
神の王国の実際の中に生きることができます。

(2016年9月全国特別集会標語)



# 訓練の目的と目標

## Purpose of the Training

訓練生をキリストの中で建て上げて、  
彼らの命が成長し、円熟へと至るようにする。

エペソ4:15. コロサイ1:28

訓練生を装備して、聖書にしたがい、  
聖霊の啓示によって、神聖な真理を認識させる。

Ⅱ テモテ3:16-17. Ⅰ テモテ2:4. Ⅱ ペテロ3:18

訓練生を育てて、彼らの霊的能力を養成し、  
福音を宣べ伝え、若い信者たちを養い、聖徒たちを成就し、  
神の言葉を預言して諸地方召会を建造し、  
キリストのからだの建造において究極的に完成する。

マタイ28:19. Ⅰ テサロニケ2:7. エペソ4:12. Ⅰ コリント14:1

## Goal of the Training

神聖な啓示の最高峰に到達する——  
神が人となられたのは、人が神格においてではなく、  
命と性質において神となるためである。

今日のエルサレム(召会)における今日のシオン  
(勝利者)の最高峰に到達する。

啓示録14:1

キリストの復活の力の中で、  
キリストの死に同形化される生活をすることによって、  
キリストのからだの実際に到達する。

ピリピ3:10



Join! FTTTk!

## Full-Time Training in Tokyo

〒151-0071

東京都渋谷区本町1丁目30-7 ジャパンゴスペルワーク

TEL: 03-3374-8576